

令和5年度 清瀬市生活安全対策協議会 会議録（要旨）

日 時 令和6年2月13日（火）10時00分から

場 所 清瀬市役所4階 研修室

出席者
委 員

神崎（会長）委員、村野委員、前田委員、松村委員、新井委員、石崎委員、柿添委員、粕谷委員、永堀様（平澤委員代理）

事務局 防災防犯課長、防犯担当職員2名

傍聴者 1名

会議次第

1 開 会

2 会長挨拶

3 委員紹介

4 議 事

- （1）安全・安心まちづくりの取組状況について
- （2）犯罪被害発生状況について
- （3）災害発生状況について

5 閉 会

審議経過

1 開会

2 会長挨拶

3 委員自己紹介

4 議事

(1) 安全・安心まちづくりの取組状況について

事務局より

- ・令和5年度安全・安心まちづくりの取組状況及び令和5年度安全・安心まちづくりの取組について、資料に沿って防犯パトロール、スクールパトロール等の実施内容及び実施予定を説明。

(2) 犯罪被害発生状況について

前田委員より説明

- ・令和5年における東村山警察署管内の全刑法犯数 ※（）内は前年比計1216件（+108）
自転車盗が最多で約38%を占め、125件中施錠ありが42件、施錠無しが83件と施錠無しの方が大きく上回る状況
- ・令和5年における市内の特殊詐欺について
発生件数82件（+14）
市役所の職員や銀行員を騙り、ATM等から「還付金詐欺」の被害が増加している。
- ・その他の犯罪について
強盗事件 2件
公然わいせつが学区域内で発生した。
- ・犯罪への対策
自転車盗については、施錠を促す広報活動やキャンペーン等を行っている。特殊詐欺については、防犯協会等含めて広報等行い対策をしてきた。詐欺の電話の半数以上が外国からの電話であることから、国際電話を受けないように設定できる申込用紙を配布している。公然わいせつの対策については防犯カメラの設置を推進していきたい。

(3) 災害発生状況について

永堀様より説明

- ・令和5年東京消防庁管内の火災発生件数 ※（）内は前年比
4,326件（+373）【令和6年1月4日速報値】
4年ぶりに4,000件を超える。
- ・市内の火災発生件数は、2件【令和6年1月～2月13日現在】
- ・過去5年において住宅火災の出火原因の第1位は、たばこ、第2位はストーブ
- ・住宅火災による死者に占める高齢者は約7割
→東京消防庁では、住宅用火災警報器と住宅用消火器の設置・維持管理を重点に呼び掛けている。
- ・住宅用火災警報器と住宅用消火器について
住宅用火災警報器を設置することで火災の早期発見、速やかな通報及び消火、避難が可能となり被害の防止、軽減ができる。
定期的な点検をし、設置後10年を経過したものは交換する。
消火器による初期消火は被害軽減に効果的であるため、住宅用消火器の設置を推奨する。
- ・高齢者等の被害軽減に向けた普及啓発動画
高齢者に日常的に接する方々や、高齢者自身が視聴し住宅での危険箇所の改善につなげることを目的として住宅での火災、地震等の危険性やその対策を紹介する動画を制作。東京消防庁公式 YouTube で公開中。
- ・#7119の活用
令和5年の119番通報件数は、1,723,903件
119番につながらなくなる現象も発生している。
救急車の要請に迷ったら#7119を活用してほしい。

○質疑

委員より

Q 市の取組みでヘルメットの補助事業があったと思うが、申請は何件あったのか。

A 詳細な件数は把握していないので、担当課に確認して後日回答致します。

委員より

Q 防犯講習会について、どういった方が利用しているのか伺いたい。

A 利用者は、主に自治会の方々になる。学校に対してはスクールサポーターというのを設けて、学校からの要請に基づいて薬物乱用防止の教室などを行っている。

委員より

Q スクールサポーターと一緒に学区域のパトロールも可能か。

A 可能です。

委員より

Q 資料で水難3件とあるがどのようなことをいうのか。

A 一般的には、川で人が流されたのを救助することではあるが、地下室の浸水や車の水没でも水難として含んでいる。

4 閉会

会長より

質問・意見等がなければ、本日の会議は閉会させていただきます。

皆様、ありがとうございました。